

2025 年 11 月 11 日

各 位

上場会社名 東亜建設工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 早川 毅
 (コード番号 1885 東証プライム・札証)
 問合せ先責任者 経営管理本部総務部長 中尾 昌義
 (TEL 03-6757-3821)

業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び 期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、2025 年 11 月 11 日開催の取締役会において、下記のとおり、2025 年 5 月 13 日に公表した業績予想及び期末配当予想を修正し、また剰余金の配当(中間配当)を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	335,000	18,000	17,500	12,500	157.53
今回修正予想(B)	342,000	21,500	21,000	15,000	192.42
増減額(B-A)	7,000	3,500	3,500	2,500	
増減率(%)	2.1	19.4	20.0	20.0	
(ご参考)前期実績 (2025 年3月期)	330,472	20,621	20,073	14,908	187.94

(2) 2026 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	320,000	16,900	16,300	11,700	147.44
今回修正予想(B)	327,000	20,400	19,800	14,200	182.16
増減額(B-A)	7,000	3,500	3,500	2,500	
増減率(%)	2.2	20.7	21.5	21.4	
(ご参考)前期実績 (2025 年3月期)	317,869	18,581	17,941	13,554	170.86

2. 修正の理由

(1) 個別業績予想

売上高については、海外事業において手持工事が順調に推移していることなどから、前回発表予想より 70 億円増加する見込みです。利益面については、国内土木事業及び国内

建築事業において手持工事が順調に進捗したことに加え、大型工事の利益率が改善したことなどにより、増加を見込んでおります。これらを主因として、営業利益及び経常利益が前回発表予想より 35 億円の増加、当期純利益は 25 億円の増加となる見込みです。

(2) 連結業績予想

主に個別業績予想の修正に伴い、前回発表予想を上回る見込みです。

(ご参考) 2026 年 3 月期個別受注予想数値の修正

	個別受注高
	百万円
前回発表予想 (A)	230,000
今回修正予想 (B)	265,000
増減額 (B - A)	35,000
増減率 (%)	15.2
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	353,775

受注高については、国内土木事業及び国内建築事業が堅調に推移し受注高の増加を見込むことにより前回発表予想を上回る見込みです。

3. 剰余金の配当 (中間配当) 及び期末配当予想の修正

(1) 剰余金の配当 (中間配当)

	決定額	直近の配当予想 (2025 年 5 月 13 日公表)	前期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)
基準日	2025 年 9 月 30 日	同左	—
1 株当たり配当金	38 円 00 銭	同左	—
配当金総額	3,059 百万円	—	—
効力発生日	2025 年 12 月 5 日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(注) 当社の剰余金配当は、2025 年 3 月期まで期末配当の年 1 回としておりましたが、2026 年 3 月期より中間配当を導入しております。

(2) 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2025 年 5 月 13 日発表)	円 銭 38.00	円 銭 38.00	円 銭 76.00
今回修正予想		39.00	77.00
当期実績	38.00		
前期実績 (2025 年 3 月期)	—	76.00	76.00

(注) 当社の剰余金配当は、2025 年 3 月期まで期末配当の年 1 回としておりましたが、2026 年 3 月期より中間配当を導入しております。

(3) 配当及び修正の理由

当社は、中期経営計画期間中である 2024 年度及び 2025 年度の配当性向を 40%以上とすることで、安定的な株主還元を一層充実させていくことを目標として掲げております。

上記の方針を踏まえ今回の業績予想の修正に伴い、中間配当を 38 円とすることを本日開催の取締役会で決議するとともに、期末配当予想を直近の予想から 1 円増配し 1 株当たり 39 円とすることといたしました。

この結果、当期の年間配当金は中間配当金 38 円を加えて 1 株当たり 77 円となります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記の予想数値は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって業績予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上